

## Call for evidence and information

## 集計結果概要

2014 年 1 月 14 日

事務局

平成 25 年 10 月 16 日～12 月 10 日にかけて実施した「論点整理 エビデンス・情報提供の呼びかけ」に対し、国内外より多くのエビデンスが寄せられました。

- 外部からのエビデンス・情報提供は国内外含め 35 件となりました。主に外部から寄せられたエビデンスの内訳・属性を見ると、投資家が 19 件(ACGA や ICGN、企業価値向上研究会など投資家コミュニティを含めると 22 件) と最も多く、その中でも海外投資家からが 14 件と、関心が特に高いことが伺えます。

|      |      |                |
|------|------|----------------|
| 投資家  | 19 件 | 海外 14 件、国内 5 件 |
| 企業   | 3 件  | 海外 0 件、国内 3 件  |
| その他* | 13 件 | 海外 3 件、国内 10 件 |

\* 各種団体、コンサルティング会社、学術機関、研究所等

- (1)～(14)の論点整理別に見ると、投資家と企業のエンゲージメントに関するエビデンスが多くなっています。(詳細は裏面に記載)
  - (4)資本効率と経営規律の課題に関する (23 件)
  - (13)中長期的な対話に向けた開示 (14 件)
  - (14)対話・エンゲージメントのあり方 (20 件)
 また、企業価値創造やショートターミズムについても多くのエビデンスが寄せられています。
  - (2)持続的成長企業のすがた (16 件)
  - (3)経営者のインセンティブ (16 件)
  - (11)ショートターミズム (企業・投資家・市場関係者の短期志向) (14 件)
  - (12)現行開示における課題 (13 件)
- 海外からのエビデンスとしては、運用会社による日本企業の収益性や内部留保等の考察・意見がある一方で、コーポレートガバナンスやエンゲージメント等、中長期的な視点からのエビデンスも多く寄せられています。
- 上記に加え、各分科会でご提供いただいた資料で公表可能とご連絡頂いている資料 (13 件) がございます。

(参考：論点整理別のエビデンス数)

| 論点整理                              | 外部からのエビデンス・情報提供 |
|-----------------------------------|-----------------|
| (1) 持続的成長の定義                      | 14              |
| (2) 持続的成長企業のすがた                   | 16              |
| (3) 経営者のインセンティブ                   | 16              |
| (4) 資本効率と経営規律の課題                  | 23              |
| (5) 価値創造における経営者と投資家の同期化・非同期化      | 8               |
| (6) 投資家側のインセンティブ                  | 11              |
| (7) アナリストの発展に向けた課題                | 10              |
| (8) アセットオーナーの体制                   | 6               |
| (9) 中長期投資の促進                      | 10              |
| (10) 利益相反                         | 4               |
| (11) ショートターミズム（企業・投資家・市場関係者の短期志向） | 14              |
| (12) 現行開示における課題                   | 13              |
| (13) 中長期的な対話に向けた開示                | 14              |
| (14) 対話・エンゲージメントのあり方              | 20              |
| その他                               | 1               |

※1つのエビデンスで複数の論点に関係する場合が多いため上記合計と提供総数とは一致しません。

以上